

令和元年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和 2年 1月 30日

学 長 殿

所属部局・職名：福島大学大学院 共生システム理工学研究科 1年

申 請 者 名：木原 佑太

| | |
|------------------------|--|
| 助成事業の区分 (該当するものに○印) | 研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ 学会参加) 学術振興に関する事業 (学生 ・事務職員・その他の特別事業) |
| 事 業 名 | 2019 Asian Conference of Management Science & Applications 参加・発表 |
| 事業実施期間 | 2019年10月11日 ～ 2019年10月14日 |
| 成 果 の 概 要 | <p>“2019 Asian Conference of Management Science & Applications”の参加及び、発表・質疑応答を行った。また、本学会は、中国山東省の煙台市で行った。発表タイトルは、“Conceptual Marketing Model Based on Brand Purpose with Social Value”である。</p> <p>本学会で学んだことは、主に2つある。</p> <p>1つ目は、国際的な交流の大切さである。海外の方とのコミュニケーションは、日本人との交流にはない価値観・考え方を得ることができた。今後、研究や就職後の仕事において広い視野を得ることができると考えられる。</p> <p>2つ目は、中国市場の魅力についてである。今回学会で訪れた山東省の煙台市は観光地もあり発展途上の街であった。街全体で観光地として活動した場合、北京や上海などの大都市になることが可能であると考えられる。このような発展途上の街や国にアプローチをかけることによって、企業と街・国が共に発展可能であると考えられる。企業は、現地企業や現地人と共に活動していくことが大切である。</p> <p>これらから、多様な価値観を学び昇華していくことの大切さと、現在市場において多様な価値観を考慮することによって、適切な市場の分析や戦略の策定を決定することができることを学んだ。</p> <p>今後は、本学会で学んだことを、研究や就職活動また、就職後の仕事で活かしていきたい。</p> |